

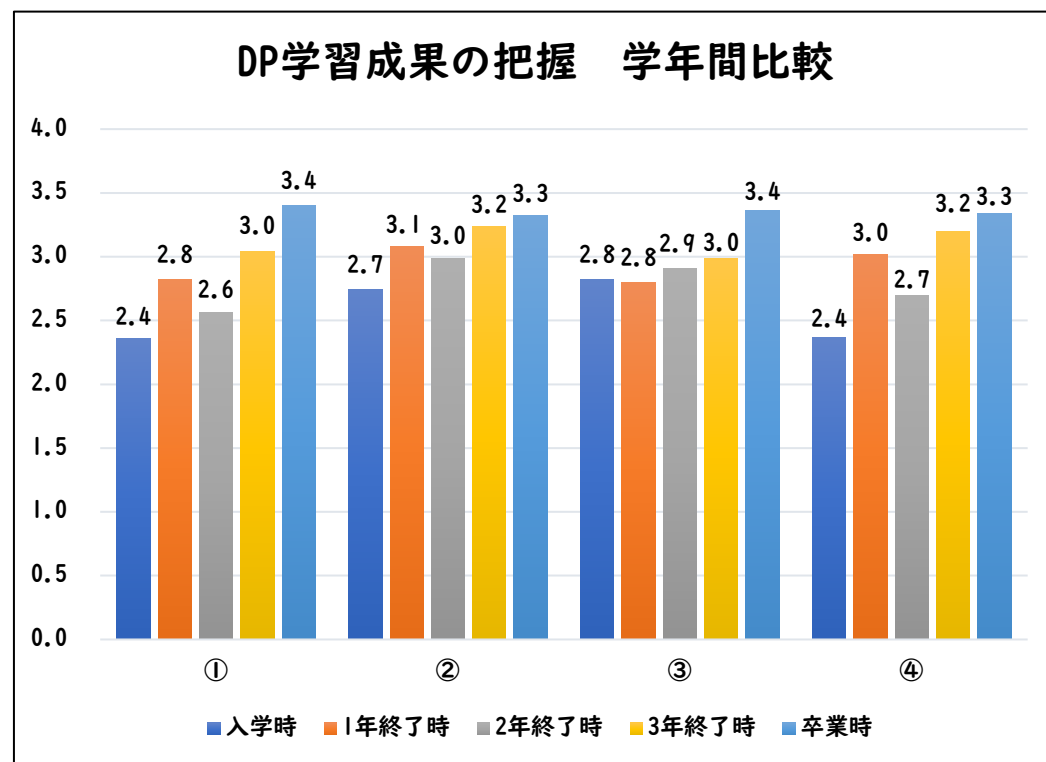
2023年度学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証（DP）

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。各学科・研究科専攻の学位授与の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 社会福祉学科

学位授与の方針に掲げている①～④の領域に対する到達度を5段階ルーブリック評価で検証しました。回答者総数は582（昨年610）でした。詳細は、入学時269（昨年210）で回答率80.5%，1年終了時145（昨年205）で回答率43.4%，2年終了時86（昨年62）で回答率25.7%，3年終了時57（昨年79）で回答率14.1%，4年終了時25（昨年54）で回答率6.2%でした。



<学位授与の方針>

社会福祉学科の教育目標は、現在の福祉環境を多面的に理解し、幅広い教養と深い専門領域を学修することによって、社会の発展に寄与できる人、それぞれのライフステージのなかで全ての人びとの「幸せ」（福祉）と「安心」を追究できる人、生活問題を主体的に解決できる人、このような人材を養成することです。以下の4つの領域で成果を把握しています。各項目の詳細はホームページの情報をご参照ください。

- ① 学びと行のための知識・理解
- ② 学びと行のための技能・技術
- ③ 学びと行のための態度・志向性
- ④ 行動

全般的には全ての資質・能力において、入学時から学年が上がる毎に向上する傾向がみられます（昨年度とおおむね同様の傾向）。これは、本学科において1年次から履修できる専門教育科目や、全学的に推進しているリエゾンゼミ教育やキャリア教育、専門職養成における福祉現場における実習などから得られた学修成果が、学生自身の自己評価に反映されているものと思われます。

但し、2年終了時の値が低く、次年度以降の課題といえる。